

様式第1号（第6条関係）

西教ま函発第11号

令和7年11月14日

公表所管課長（総務部総務課長）様

教育部まなび推進課長 大崎 伸一

会 議 要 録

名 称	令和7年度西予市図書館協議会臨時会	
事 務 局	西予市教育部まなび推進課 西予市図書館	
	電 話 0894-62-6420	
	F A X 0894-62-6579	
開 催 日 時	令和7年10月24日(金)午前9時56分～午前11時14分	
開 催 場 所	西予市図書館まなびあんコミュニティスペース	
出席者	委員	西川博幸、菊池美和子、米谷慶子、中川裕子、宇都宮知江、石崎文明、宇都宮里夏
	事務局	大崎館長、長野館長補佐、幸村純、大野美樹、水関理沙、吉川賢一、二宮洋子、玉川志津香、中平理沙
会長	1. 開会	
会長	2. あいさつ 西川博幸 会長	
	3. 協議事項	
	◇答申書について 1 総論 図書館においては、大きく2つの改革プランが示されたところであるが、いずれも市民への影響が心配されること	

	<p>ろである。特に分館が廃止となる明浜町及び城川町に関しては、これまでの利用者に不便が生じないように対策を講じてもらいたい。また、利用者が多い図書交流館（まなびあん）の休日増加や開館時間帯の変更については、市民に十分な情報が伝わるよう周知期間を設けるほか、頻繁に利用する個人や団体には直接声掛けをするなど混乱を招かないよう配慮を願う。</p> <p>いずれにしても、今回の改革プランは協議会委員の立場からすれば複雑な気持ちであるが、市の財政状況を鑑みれば「致し方ない」と判断するところである。</p> <p>このことについて意見を求めるが無し。</p> <p>2 明浜分館、城川4分館廃止について 現状の利用状況から判断すると、利用の少ない5分館については分館廃止も「やむを得ない」と判断する。システムの維持管理費や更新費用などの費用対効果を見通せば、今後更に財政を圧迫する要因として課題が残ると言える。また、これまで西予市内に8館の図書館を運営し続けてきたことは周辺地域への配慮事項であったと思うが、県内市町の実態と比較しても3館が適切であると思われるのでプラン通り進めることを理解する。</p> <p>ただし、これまでの利用者が従来通り貸出・返却を行える仕組みを構築し、わかりやすく伝えることを求める。また、分館によっては書籍を一定数残したい考えもあるので各分館と調整を図ることを願います。</p> <p>このことについて意見を求める。</p> <p>委員 「財政危機脱却に向けたせいよ改革宣言」が発表され、5分館廃止については仕方がない。賛成する。本を一定数残すという考えは大変ありがたい。</p> <p>会長 5分館廃止について、協議会の答申としてやむを得ないということによろしいか。</p> <p>委員全員 賛成する。</p> <p>会長 3 開館日等の見直しについて 市内公共施設の休館日を基本的に1日増加するという方針であるので、図書交流館もそれを受け入れなければならないと理解できる。結果として人件費や光熱水費などの維持管理費を抑えることとなり、予算の縮減に努めることができる。</p> <p>また、休館日の設定においては中央・野村・三瓶の3館を月曜日及び火曜日とすることで、利用者にとって分かりやすく、職員にとっても働きやすい環境の整備につながると考える。更に、祝</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<p>日は利用者が多いため、中央館と同様に野村分館及び三瓶分館も開館することが望ましいと考える。</p> <p>開館時間については、3館で統一することが望ましいと考えており、会計年度任用職員の勤務時間と中央館の貸館利用を考慮したうえで、〇時〇分開館、〇時〇分閉館が適当であると判断する。</p>
館長	<p>休館日を増やすことについては、ジオミュージアム、ギャラリー一城川、児童館など、市直営の公共施設は基本的に1日休館を増やす形で進めている。</p>
会長	<p>前回の意見として休館日は仕方がない。月火の連続休館が、肯定的な意見であった。日曜日は答申の中にも触れているが、利用者が多いので休みにすると、図書離れを更に進めてしまうため連続休館にする。職員の働き方改革も含めれば仕方がないのかと思う。中央館に統一するというところでよろしいか。</p>
委員	<p>どの施設も月火を休館にすると行く所がなくなるのではないか。</p>
館長	<p>休館に関しては、各施設が部内で協議しており、他の部とどうバランスを取るかはこの場での議論ではない。図書館の休館日に関しては、この場での議論の余地はある。</p>
委員	<p>市の公共施設が一斉休館すると、観光客が訪れても全て閉まっている可能性がある。観光への配慮として、市全体で休館日を調整する機能は必要ではないか？各部署の提案を統合し、広域的・全体最適の視点で公的機関の在り方を再検討する仕組みが必要。答申をそのまま受け入れるのではなく、再構築の余地を持つべき。</p>
館長	<p>市政懇談会で市民からいろいろと意見が出ると思われるが、それらを含めプラン通りに進めるかどうかは上層部の判断となる。施設運営の全体バランスを考慮した調整の検討は必要だが、現時点では明確な方針は伝えられない。</p>
会長	<p>施設の開館日をずらすなどの調整は、この場で望ましいと判断されれば答申可能。また、休館日を分散させるなど、全体のバランスを考慮した運営への提案もできる。</p>
事務局	<p>月火の連休があっても土日祝は全部出勤となり、職員の負担が大きい。人員が少なく有休も取りづらく、来年度の週5勤務で継続勤務や採用に不安がある。せめて月火連休を確保することで、働きやすさを示し、応募につなげたいと思う。</p>
分館事務局	<p>野村分館では、児童館との兼ね合いから火曜休館を避ける案もあったが、図書館全体の月火休館方針に合わせることになった。水・金は児童の利用が多く開館を希望する声もあり、3館の連携や通送業務の効率を考慮し、3館で足並みを揃える必要があると</p>

分館事務局	<p>の判断に至った。</p> <p>三瓶では、土日の利用者が多いため開館を維持し、平日の休館日を検討する中で、月火の連休が利用者にも覚えやすく、職員の負担軽減にもつながるとの現場の声があった。他施設との連携や児童館との兼ね合いも考慮し、最終的に月火休館案に賛同した。</p>
会長	<p>3館職員から話を聞いて、3館を同じにして運営していくべきである。他の施設と休館日をずらす配慮も必要であり、市には分野間の調整を求めたい。こうした視点を加え、答申書の修正をする。</p>
会長	<p>開館時間について、①午前10時開館午後5時30分閉館、②午前9時45分開館午後5時15分閉館、③午前9時30分開館午後5時00分閉館の3パターンを示し、意見を求める。</p>
事務局	<p>資料説明：中央館年代別貸出実績では、小学生以下36.6%、中高生6.7%、60歳以上25.8%である。交流館曜日別・時間帯別利用実績では、土曜日の午前午後共に一番多く、次に金・日・火の午後、その次が木曜日午前の利用が多くなっている。夜間は、全体に少ない。</p>
会長	<p>意見を求めるが、各図書館としては、いかがか。</p>
事務局	<p>中央館は、②③のどちらでも可。</p>
分館事務局	<p>三瓶と野村は現在土日は午前9時30分開館午後5時00分閉館であり、③が良い。</p>
分館事務局	<p>三瓶も③で浸透しているから②か③が良い。</p>
分館事務局	<p>現在、祝日は休館だが、今後開館することは良いことだと思う。</p>
委員	<p>利用者の62%が小学生以下と60代以上であることから、早めの閉館でも大きな影響はないと考えられる。高齢者の立場からも、③案（9:30開館・17:00閉館）が適しており、時間短縮の必要は感じないため、③を支持する。</p>
委員	<p>貸館利用は10時開始が多いため、9時30分でも9時45分でも問題はない。時間が覚えやすく徹底しやすい③（9:30～17:00）が望ましい。働き方にも大きな影響はないため、③を支持する。ただし決定後は、各利用団体へ速やかに周知してほしい。</p>
委員	<p>②または③が良いと思うが、午後5時に終わるとなると午後4時45分に出ないといけなくなるため、午後5時15分閉館なら余裕があり良いと思う。</p>
会長	<p>開館閉館時間は、他の施設と揃える必要はないのか。</p>
館長	<p>ないです。</p>
会長	<p>②③に絞って良いか。準備は、15分あれば良いか。</p>
委員	<p>大丈夫です。</p>
委員	<p>子育て世代です。野村分館を利用するが、③が今まで通りで分</p>

<p>会長</p>	<p>かりやすい。②になっても、子どもたちも困ることもないとは思わないと思う。</p> <p>どちらでも対応できるとのことではあるが、7人の委員により②③のどちらかを挙手により決めたい。</p> <p>②4人、③3人、よって②の午前9時45分開館午後5時15分閉館で決定する。</p>
<p>事務局</p>	<p>4 報告事項</p> <p>(1) 使用料の見直しについて</p> <p>今回の財政危機脱却プランにおいて、今まで減額または免除されていた団体等が有料化することの説明</p> <p>(2) 本の予約方向について</p> <p>ホームページから予約に至る手順の説明</p>
<p>館長</p>	<p>5 その他</p> <p>6 閉会</p>